



2027年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年8月5日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 東

コード番号 6322 URL <https://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 圭祐

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 植田 和寛

TEL 06-6208-3971

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,281	△13.8	85	△76.3	116	△69.6	82	△67.2
2026年3月期第1四半期	2,648	5.9	361	13.5	383	13.4	250	8.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 127百万円 (△47.6%) 2026年3月期第1四半期 242百万円 (2.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	11.89	—
2026年3月期第1四半期	36.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	14,304	11,306	79.0
2026年3月期	14,534	11,379	78.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 11,306百万円 2026年3月期 11,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	29.00	54.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の連結業績予想（2026年 4月 1日～2027年 3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,200	0.4	1,635	0.3	1,710	0.4	1,235	178.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	7,728,540 株	2026年3月期	7,728,540 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	823,882 株	2026年3月期	823,882 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	6,904,658 株	2026年3月期1Q	6,890,066 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. その他	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、継続的な賃上げに伴う雇用・所得環境の改善や、旺盛なIT投資意欲などを背景に緩やかな回復基調となりました。一方で、為替相場の変動に伴う輸入コストの上昇や、原材料価格・エネルギー価格の高止まりが企業収益を圧迫しているほか、中東地域を巡る地政学リスク、主要国の金融政策や通商政策の動向が景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、受注は好調に推移し、受注残高を順調に積み上げました。

一方、売上面については、国内では、前年同期に大型案件の納入があった反動もあり、ケミカル業界及びマテリアル業界向けを中心に低調な結果となりました。対して海外では、二次電池業界向けの落ち込みを水処理関連向けで補うことができたため、底堅く推移しました。

主な品目別販売実績は、以下のとおりです。

高性能ソリューションポンプは、国内市場では、当社主力製品である「スムーズフローポンプ」の主要市場となるケミカル業界において、二次電池関連や素材関連を中心に設備投資計画は進み、案件数は増加傾向にあるものの、前年同期の大型案件の反動により、売上が減少しました。「スムーズフローポンプ」の販路は、研究・開発分野における新用途でも拡大し裾野が広がっており、環境負荷低減や自動化・効率化などに関連したシステム化のニーズに対しても、スムーズフローテクノロジーを駆使したソリューションの導入が進んでおります。また、2026年4月には、ポートメッセなごでで開催された「ものづくりワールド名古屋」に出展し、自動車業界をはじめとするお客様に対して、塗装・混合などの用途に向けた「スムーズフローポンプ」を軸とした流体ソリューションやスムーズフローテクノロジーを紹介し、TCO（Total Cost of Ownership）削減への貢献、製造工程の自動化・省人化や工程内での異物混入低減を訴求しました。さらに、5月には幕張メッセで開催された「インターフェックスウィーク東京」にも出展しました。バイオ医薬分野を中心にシングルユース仕様の「スムーズフローポンプ」を技術出展し、国産品としての安定供給や安心感を訴求して認知向上を図ったほか、フロー合成用途に向けては「スムーズフローポンプ」の密閉性や送液の長期安定性を訴求しました。

海外市場では、EV関連市場の需要低迷に伴い設備投資計画の抑制傾向が続いており、韓国顧客に向けた「スムーズフローポンプ」の納入が減少したものの、米国及びその他のアジア地域においては、ケミカル業界での案件獲得が進んだことで、海外市場全体としては底堅く推移しました。また、中国の産業高度化に伴うニーズ増大を捉え、お客様に近い距離で「スムーズフローポンプ」を中心としたサービスの向上を図るべく、2026年4月に中国・上海市に駐在員事務所を開所しました。現地販売店の販促支援強化とともに、グローバル市場におけるプレゼンスの向上を目指します。

汎用型薬液注入ポンプは、滅菌・殺菌業界及びプラント向けで大型案件を獲得し、水処理向けでも案件数が堅調に推移したことにより、売上が増加しました。

ケミカル移送ポンプは、前年同期の製鉄プラント向け「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」の大型案件の反動により、売上が減少しました。

計測機器・装置は、前年同期に「通水試験装置」の大型案件を受注していた反動により、売上が減少しました。

ケミカルタンクは、水処理関連を中心に案件数は維持しているものの、大型タンクを始めとする案件の獲得に苦戦し、売上が減少しました。

以上の結果、売上高は22億81百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益は85百万円（同76.3%減）、経常利益は1億16百万円（同69.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82百万円（同67.2%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億29百万円減少し、143億4百万円となりました。

流動資産は8億25百万円減少し、85億36百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の減少4億95百万円、売上債権の減少4億67百万円、棚卸資産の増加1億24百万円であります。

固定資産は5億95百万円増加し、57億68百万円となりました。増加内訳は、有形固定資産の増加1億9百万円、無形固定資産の増加74百万円、投資その他の資産の増加4億12百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億56百万円減少し、29億97百万円となりました。

流動負債は2億34百万円減少し、18億37百万円となりました。主な増減内訳は、1年内返済予定の長期借入金の増加33百万円、未払法人税等の減少1億74百万円、賞与引当金の減少1億72百万円であります。

固定負債は78百万円増加し、11億60百万円となりました。主な増加内訳は、長期借入金の増加60百万円であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて73百万円減少し、113億6百万円となりました。主な増減内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円から配当金2億円の支払いを差し引いた利益剰余金の減少1億18百万円、その他有価証券評価差額金の増加71百万円、為替換算調整勘定の減少24百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.3%から79.0%へと0.7ポイント上昇いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月11日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました、通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,543,804	3,048,261
受取手形及び売掛金	2,340,782	1,709,636
電子記録債権	1,591,079	1,755,207
有価証券	158,930	161,873
商品及び製品	152,466	263,226
仕掛品	1,927	2,881
原材料及び貯蔵品	1,535,475	1,547,948
その他	52,403	62,391
貸倒引当金	△15,346	△15,414
流動資産合計	9,361,524	8,536,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,480,793	1,455,177
その他（純額）	1,015,323	1,150,182
有形固定資産合計	2,496,116	2,605,359
無形固定資産	221,748	296,356
投資その他の資産		
投資有価証券	1,960,764	2,386,951
その他	589,798	575,671
貸倒引当金	△95,719	△95,719
投資その他の資産合計	2,454,844	2,866,903
固定資産合計	5,172,709	5,768,620
資産合計	14,534,234	14,304,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	613,833	575,461
電子記録債務	211,392	244,070
短期借入金	8,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	—	33,600
未払法人税等	218,299	44,071
賞与引当金	331,000	158,864
その他	689,240	761,212
流動負債合計	2,071,765	1,837,280
固定負債		
長期借入金	350,000	410,800
退職給付に係る負債	572,332	587,835
その他	160,170	161,876
固定負債合計	1,082,502	1,160,511
負債合計	3,154,268	2,997,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	797,562	797,562
利益剰余金	9,801,614	9,683,354
自己株式	△881,642	△881,642
株主資本合計	10,610,533	10,492,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,774	648,531
土地再評価差額金	29,652	29,652
為替換算調整勘定	88,779	63,976
退職給付に係る調整累計額	74,226	72,408
その他の包括利益累計額合計	769,432	814,568
純資産合計	11,379,965	11,306,841
負債純資産合計	14,534,234	14,304,633

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	2,648,151	2,281,470
売上原価	1,377,114	1,263,389
売上総利益	1,271,036	1,018,081
販売費及び一般管理費	910,011	932,656
営業利益	361,025	85,424
営業外収益		
受取利息	9,723	12,641
受取配当金	11,759	16,291
持分法による投資利益	768	1,760
為替差益	—	335
その他	3,572	1,848
営業外収益合計	25,823	32,877
営業外費用		
支払利息	544	1,578
為替差損	2,343	—
営業外費用合計	2,888	1,578
経常利益	383,960	116,723
特別損失		
減損損失	20,851	—
特別損失合計	20,851	—
税金等調整前四半期純利益	363,109	116,723
法人税等	112,782	34,618
四半期純利益	250,327	82,104
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	250,327	82,104

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	250,327	82,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,110	71,757
為替換算調整勘定	△37,453	△24,802
退職給付に係る調整額	△252	△1,817
その他の包括利益合計	△7,595	45,136
四半期包括利益	242,731	127,241
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,731	127,241
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	71,630千円	70,633千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(1) 売上高

(単位：百万円)

品 目	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
高性能ソリューションポンプ	961	36.3	828	36.3	△133	△13.9
汎用型薬液注入ポンプ	666	25.2	721	31.6	54	8.2
ケミカル移送ポンプ	349	13.2	172	7.6	△176	△50.6
計測機器・装置	323	12.2	244	10.7	△79	△24.4
流体機器	75	2.9	63	2.8	△11	△15.7
ケミカルタンク	163	6.1	148	6.5	△14	△9.0
その他	108	4.1	102	4.5	△5	△5.0
合 計	2,648	100.0	2,281	100.0	△366	△13.8
(うち海外)	(353)	(13.3)	(363)	(15.9)	(10)	(3.0)

(注) 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

(2) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

品 目		前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増 減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
受 注 高	高性能ソリューションポンプ	782	32.0	886	31.3	103	13.3
	汎用型薬液注入ポンプ	697	28.5	808	28.7	111	15.9
	ケミカル移送ポンプ	167	6.9	204	7.3	36	21.8
	計測機器・装置	425	17.4	408	14.5	△17	△4.1
	流体機器	75	3.1	154	5.5	78	103.1
	ケミカルタンク	185	7.6	215	7.7	30	16.6
	その他	111	4.5	141	5.0	30	26.9
	合 計 (うち海外)	2,446 (266)	100.0 (10.9)	2,819 (275)	100.0 (9.8)	373 (8)	15.3 (3.3)
受 注 残 高	高性能ソリューションポンプ	786	39.6	1,034	43.6	248	31.6
	汎用型薬液注入ポンプ	264	13.3	302	12.8	38	14.7
	ケミカル移送ポンプ	133	6.7	162	6.9	29	21.8
	計測機器・装置	310	15.6	387	16.4	76	24.7
	流体機器	233	11.7	138	5.9	△94	△40.5
	ケミカルタンク	176	8.9	220	9.3	44	25.0
	その他	83	4.2	120	5.1	36	43.7
	合 計 (うち海外)	1,988 (261)	100.0 (13.1)	2,368 (271)	100.0 (11.4)	379 (9)	19.1 (3.8)

(注) 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。